

かほく市 罹災後のお住まいに関する第2回意向調査結果

■ 意向調査実施概要

対象	・大崎地区を除く市内全域で、被害の程度が半壊以上の罹災証明書の交付を受けた世帯：96世帯
内訳	<ul style="list-style-type: none"> - 内日角：26世帯 - 宇野気：5世帯 - 七窪：15世帯 - 上山田：6世帯 - 横山：2世帯 - 内高松：12世帯 - その他地区：30世帯
調査方法	・郵送配布 郵送回収もしくはWEB回答
調査期間	・2025年3月7日～31日

■ 意向調査 設問概要

問1	支援制度の活用意向
問2	支援制度で想定する工事内容
問3	今後のお住いの場所について
問4	今後のお住いの形態について
問5	その他意見

■ 回収状況 合計 62件 回収率 64.6%

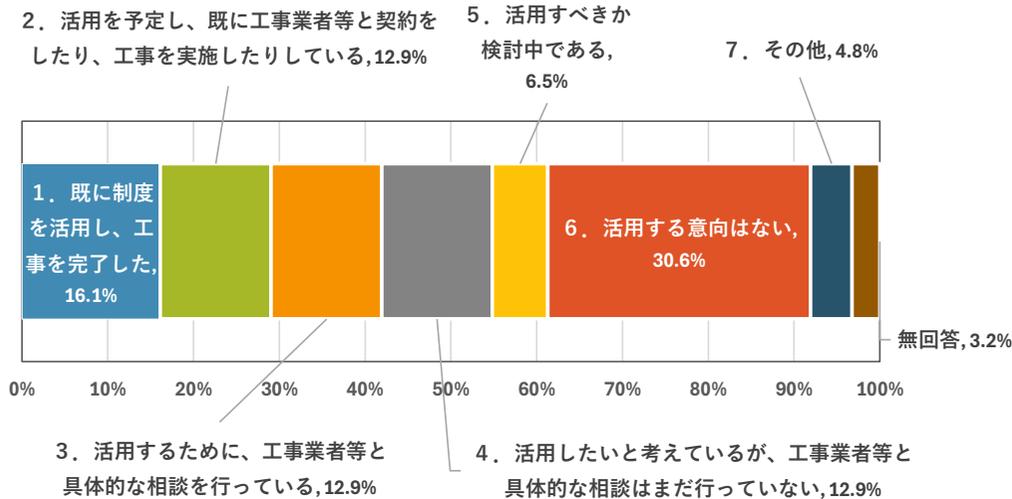
■ 集計状況

地域	集計率 全体		地区名	集計率 全体	
	64.6%	配布：96件 集計：62件		84.6%	配布：26件 集計：22件
全域	64.6%	配布：96件 集計：62件	内日角	84.6%	配布：26件
				集計：22件	
宇野気	100.0%	配布：5件 集計：5件	宇野気	100.0%	配布：5件
				集計：5件	
七窪	60.0%	配布：15件 集計：9件	七窪	60.0%	配布：15件
				集計：9件	
上山田	66.7%	配布：6件 集計：4件	上山田	66.7%	配布：6件
				集計：4件	
横山	0.0%	配布：2件 集計：0件	横山	0.0%	配布：2件
				集計：0件	
内高松	50.0%	配布：12件 集計：6件	内高松	50.0%	配布：12件
				集計：6件	
その他	53.3%	配布：30件 集計：16件	その他	53.3%	配布：30件
				集計：16件	

結果 | 単純集計一覧

問1 | 市では、被災した宅地の早期復旧のため「被災宅地等復旧支援事業」を創設しています。この宅地の復旧等に係る支援制度の活用意向についてお答えください。なお、宅地の復旧等に係る支援は必要なく、住宅の修繕等に係る支援だけを活用する場合の方は、「6.活用する意向はない」を選択ください。（該当する1つに○印を付けてください）

- 「活用する意向はない」が最も多く、30.6%を占めている。
- 次いで、「既に制度を活用し、工事を完了した」が16.1%を占めている。
- 一方で、制度の活用を見据えている人は、合わせて38.7%を占めている。
- また、6.5%の人が「活用すべきか検討中である」と回答している。

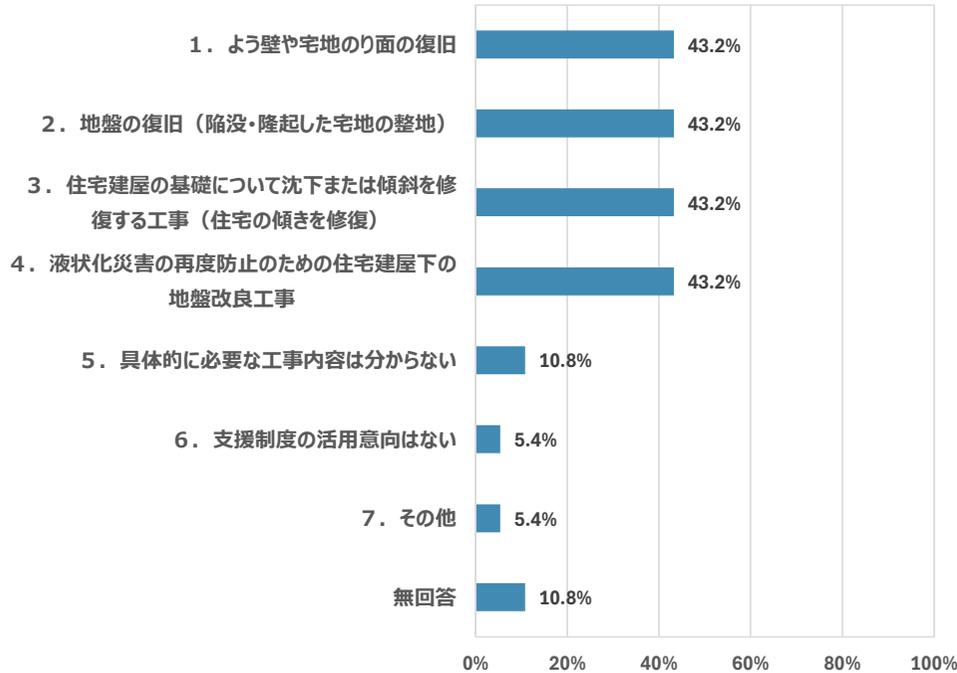


活用意向	回答数	割合
問1 市では、被災した宅地の早期復旧のため「被災宅地等復旧支援事業」を創設しています。この宅地の復旧等に係る支援制度の活用意向についてお答えください。なお、宅地の復旧等に係る支援は必要なく、住宅の修繕等に係る支援だけを活用する場合の方は、「6.活用する意向はない」を選択ください。（該当する1つに○印を付けてください）		
1. 既に制度を活用し、工事を完了した	10	16.1%
2. 活用を予定し、既に工事業者等と契約をしたり、工事を実施したりしている	8	12.9%
3. 活用するために、工事業者等と具体的な相談を行っている	8	12.9%
4. 活用したいと考えているが、工事業者等と具体的な相談はまだ行っていない	8	12.9%
5. 活用すべきか検討中である	4	6.5%
6. 活用する意向はない	19	30.6%
7. その他	3	4.8%
無回答	2	3.2%
合計	n=62	

結果 | 単純集計一覧

問2 | 宅地の復旧等に係る支援制度を活用する際に対象とする工事内容について、現在必要と思われるものをお答えください。（該当する全てに○印をつけてください）

- よう壁やのり面の復旧、地盤の復旧、住宅の傾きの修復、地盤改良工事を想定している人が、同数で最も多く、いずれも43.2%存在する。



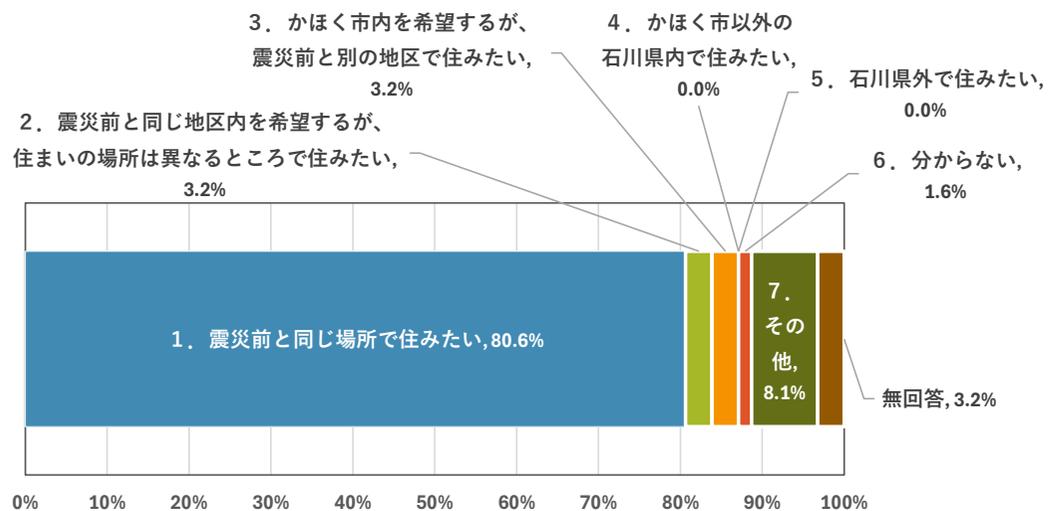
問2 宅地の復旧等に係る支援制度を活用する際に対象とする工事内容について、現在必要と思われるものをお答えください。（該当する全てに○印をつけてください）	回答数	割合
1. よう壁や宅地のり面の復旧	16	43.2%
2. 地盤の復旧（陥没・隆起した宅地の整地）	16	43.2%
3. 住宅建屋の基礎について沈下または傾斜を修復する工事（住宅の傾きを修復）	16	43.2%
4. 液状化災害の再度防止のための住宅建屋下の地盤改良工事	16	43.2%
5. 具体的に必要な工事内容は分からない	4	10.8%
6. 支援制度の活用意向はない	2	5.4%
7. その他	2	5.4%
無回答	4	10.8%
合計	n=37	

※問1で「選択肢5,6と回答した人」および「無回答の人」は、問2の対象外であるため除外している

結果 | 単純集計一覧

問3 | これからの住まい（場所）について、現在の考えをお答えください。（該当する1つに○印を付けてください）

- 全体の80.6%の人が「震災前と同じ場所で住みたい」と回答している。

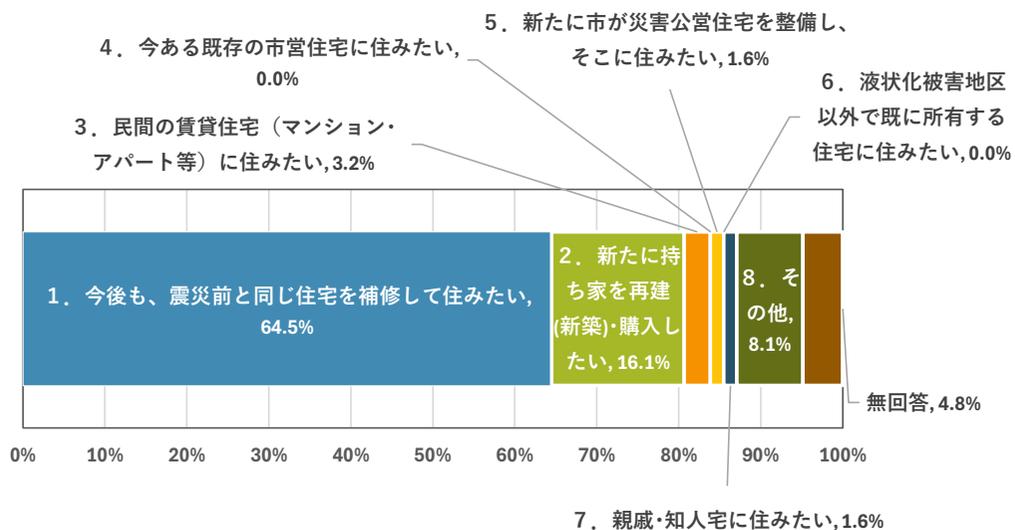


問3 これからの住まい（場所）について、現在の考えをお答えください。（該当する1つに○印を付けてください）	回答数	割合
1. 震災前と同じ場所で住みたい	50	80.6%
2. 震災前と同じ地区内を希望するが、住まいの場所は異なるところで住みたい	2	3.2%
3. かほく市内を希望するが、震災前と別の地区で住みたい	2	3.2%
4. かほく市以外の石川県内で住みたい	0	0.0%
5. 石川県外で住みたい	0	0.0%
6. 分からない	1	1.6%
7. その他	5	8.1%
無回答	2	3.2%
合計	n=62	

結果 | 単純集計一覧

問4 | ご自身のこれからの住まい（住宅）に関する現在の意向をお答えください。（該当する1つに○印を付けてください）

- ・ 「今後も、震災前と同じ住宅を補修して住みたい」と回答した人が最も多く、64.5%を占めている。
- ・ 次いで、「新たに持ち家を再建（新築）・購入したい」が16.1%と一定数存在する。



問4 ご自身のこれからの住まい（住宅）に関する現在の意向をお答えください。（該当する1つに○印を付けてください）	回答数	割合
1. 今後も、震災前と同じ住宅を補修して住みたい	40	64.5%
2. 新たに持ち家を再建（新築）・購入したい	10	16.1%
3. 民間の賃貸住宅（マンション・アパート等）に住みたい	2	3.2%
4. 今ある既存の市営住宅に住みたい	0	0.0%
5. 新たに市が災害公営住宅を整備し、そこに住みたい	1	1.6%
6. 液状化被害地区以外で既に所有する住宅に住みたい	0	0.0%
7. 親戚・知人宅に住みたい	1	1.6%
8. その他	5	8.1%
無回答	3	4.8%
合計	n=62	